

令和4年度(2022年度)全道図書館中堅職員研修会 開催要項(オンライン開催)

1 趣 旨

道内各公立図書館、公民館図書室等に勤務する中堅職員に対し、図書館運営・企画能力の向上、変化する利用者ニーズに対応できるスキルの習得を図ります。

2 主 催

北海道図書館振興協議会、北海道立図書館

3 期 日

令和4年(2022年)7月7日(木)～8日(金)

4 会 場

オンライン(Zoom ミーティングにて開催)

5 対象・定員

道内公立図書館、公民館図書室、学校等に勤務して3年以上の職員とします。
ただし、新任職員研修を受講した方を原則とします。

定員 40名

※一機関で複数の方が受講される場合は、1人一台の端末での視聴にご協力をお願いします。

6 参加条件

- (1) Zoomに接続可能なネットワーク環境(有線LAN又は無線WiFi)があること。
- (2) パソコン、タブレット、スマートフォン等Zoomが使える機器(カメラ・マイクが使用できること)があること。
- (3) Zoomの招待を受け取るメールアドレスがあること。

7 内 容

別添「日程表」及び「研修内容の紹介」のとおり

8 受講申込み

次のアドレスまたはQRコードから指定のフォームで手続きをお願いします。

(注：電話・ファクシミリ・メールによる申込受付は行いません。)

<https://forms.office.com/r/MD4dDM1FnN>



申込期限 令和4年(2022年)6月28日(火)

9 参加費

無料(但し、北海道図書館振興協議会非会員市町村の職員は、参加料として1,000円)

10 その他

- (1) 研修記録のために演習風景等の撮影を行う場合がありますので、ご承知おきください。
- (2) 開催要項及び申込フォームのリンクは、図書館ポータルにも掲載しています。
北海道立図書館ホームページ>図書館ポータル>研修

11 問合せ先

北海道図書館振興協議会事務局

(北海道立図書館総務企画部企画支援課 担当：原、足立)

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

電話：011-386-8521 ファクシミリ：011-386-6906

E-mail shienka@library.pref.hokkaido.jp

令和4年度（2022年度）全道図書館中堅職員研修会（オンライン）

日 程 表

7月7日（木）	7月8日（金）
	<p>10:00～12:00</p> <p>○事例報告</p> <p>「電子図書館サービス」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例① TRC-DL 導入館 北見市立中央図書館 奉仕係長 川畑 恵美 氏 ・事例② OverDrive 導入館 栗山町図書館 司書統括 野澤 香 氏 ・事例③ KinoDen 導入館 北海道立図書館資料整備課長 工藤 嘉一
<p>13:15～14:45</p> <p>○ 基調講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ後の地域と図書館 講師：アガミック・リソース・ガイド 株式会社（arg） <p>代表取締役 岡本 真 氏</p>	<p>13:00～15:00</p> <p>○演習 I</p> <p>「ウイズ コロナ/アフターコロナの図書館活動について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ協議 <p>進行：北海道立図書館企画支援課 企画主幹 原 美代子</p>
<p>（休憩）</p>	
<p>15:00～16:00</p> <p>○ レファレンス（講義）</p> <p>「レファレンス・インタビューのコツ ～よりよいサービスを提供するために～」</p> <p>講師：北海道立図書館一般資料サービス課 企画主幹 小川 靖子</p>	<p>15:15～16:00</p> <p>○演習 II</p> <p>「ウイズ コロナ/アフターコロナの図書館活動について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ発表 <p>進行：北海道立図書館企画支援課 企画主幹 原 美代子</p>

～ 研修内容の紹介 ～

図書館は、自治体が住民の学習や文化的な生活のために設置する施設です。子どもから高齢者まですべての住民の学習活動や文化活動、地域の課題解決を支援しています。

本研修では「コロナ後の図書館」をキーワードに、中堅職員としてのスキルの向上を図ります。

基調講演「コロナ後の地域と図書館」
新型コロナウイルス感染拡大防止のための休閉館の中で浮かび上がった図書館の課題と、これから図書館に求められる役割を確認します。 講師：アカデミック・リソース・ガイド株式会社（arg）代表取締役 岡本 真 氏
講義「レファレンス・インタビューのコツ ～よりよいサービスを提供するために～」
レファレンス・インタビューは、利用者の疑問について、あいまいな点を明確にするために図書館員が行う聞き取りのことです。ヒントとなる情報をいかに引き出すかが、レファレンスを進める上で重要なカギになります。必要なスキルや接遇の心構えなどをポイントで解説します。 講師：北海道立図書館一般資料サービス課企画主幹 小川 靖子
事例報告 電子図書館サービス
非来館型のサービスとして電子図書館サービスを導入する図書館が増えており、道内では令和4年4月1日現在12館(室)がサービスを開始しています。 「TRC-DL」、「OverDrive」、「KinoDen」、道内で運用を開始している電子図書館サービスのサービスを開始した経緯やどのような内容のサービスを行っているかの事例発表を参考に、電子図書館サービスの可能性を考えます。 発表者：① TRC-DL 導入館 北見市立中央図書館奉仕係長 川畑 恵美 氏 ② OverDrive 導入館 栗山町図書館司書統括 野澤 香 氏 ③ KinoDen 導入館 北海道立図書館資料整備課長 工藤 嘉一
演習 I・II ウィズコロナ／アフターコロナの図書館活動について
新型コロナウイルス感染症拡大のため、図書館は臨時休館や、利用の一部制限、行事の中止など多くの影響を受けました。 その後、感染防止対策を工夫しながら図書館活動を再開している図書館も多いのではないのでしょうか。この研修の参加館がどのような工夫をしながら図書館活動を行っているか事例を持ち寄り、基調講演から得た考え方を踏まえて、ニューノーマル(新たな日常)での取組について考えます。グループ形式で行う研修です。 進行：北海道立図書館企画支援課企画主幹 原 美代子